

## 令和5年度 第2回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立とりかい高等支援学校
校長名	松村 高志

開催日時	令和5年11月24日(金) 14:00~16:00
開催場所	大阪府立とりかい高等支援学校 図書室および各教室(授業見学)
出席者(委員)	A委員、B委員、C委員、D委員、E委員、F委員
出席者(学校)	校長、教頭、事務長、首席A、首席B、 教務主任、生徒指導主事、保健主事、進路指導主事、地域支援部長
傍聴者	0名
協議資料	<ul style="list-style-type: none"><li>・次第</li><li>・学校運営協議会 委員名簿</li><li>・学校運営協議会 事務局名簿</li><li>・令和5年度 学校経営計画及び学校評価【進捗】</li><li>・体育祭(10月)アンケート</li><li>・令和5年度3年生(9期生)進路状況</li></ul>

## 議題等(次第順)

- (1) 授業見学について
- (2) 令和5年度 学校経営計画及び学校評価 の進捗について
- (3) 体育祭(10月)アンケートについて
- (4) 学校教育自己診断(生徒・保護者・教員)の実施について
- (5) 令和5年度3年生(9期生)の進路状況について
- (6) その他、質疑応答

## （１）授業見学について

### 【校長】

授業は各学年のLHRを見学いただいた。1年はネイティブスピーカーによる外国語の授業、2年生は研修旅行直前の事前学習、3年生は男女別の性教育であった。

### 【A委員】

どの授業でもICTが活用されていた。新学習指導要領に「生徒が自分で考えて発信する」とあり、まさに、生徒がICTを活用して発言する場面が設定されていた。

### 【B委員】

外国語はとても楽しい雰囲気であった。ネイティブの方の発音を聞く機会があることはとても良い。研修旅行については、事細かくわかりやすい説明で、見落とししやすい部分を指摘していた。性教育は「性行為」「妊娠」「出産」と段階的に伝えていた。

### 【C委員】

外国語は生徒の表情がいきいきとしていて、楽しい雰囲気が印象に残った。昔は一方通行の授業が多かった。生徒と教師、外国語講師が相互にコミュニケーションを取る実践授業に驚いた。このような授業形態はいつごろからか。

### 【A委員】

この10年間程度だろう。

### 【D委員】

今の授業はこんなにも楽しいものなのか。生徒と教員の距離が良い意味で近い。

### 【E委員】

研修旅行の帰着連絡についての説明で、対応する教員が1名とあったが、生徒から同時に電話がかかってきたときには対応できるのか。

### 【教頭】

外線は3回線あり、他の教員が対応するため対応できる。

### 【E委員】

性教育で「相手の気持ちを考える」という点を伝えていたのは、とても大事なことで良かった。

### 【F委員】

外国語の授業は集中力を欠くことなく受けていて、子どもは楽しめていた。研修旅行は資料にマーカーを引くなど、落ち着いて聞けていた。性教育は3年生ということから、卒業までのあと少ししか受けられない。これからいろいろな人に出会う。望まない妊娠等、直面しそうな困りごとの相談先について学ぶ機会があれば、なお良い。

## 【A 委員】

性教育については、支援学校の中でも先駆的な内容だろう。性教育の根底にある基本的なことに加えて、個別対応も織り交ぜながら、学校と家庭で連携して伝えていってほしい。

## (2) 令和5年度「学校経営計画及び学校評価」の進捗について

### 【校長】

1(2)イ：専門人材の活用について、スクールソーシャルワーカー(SSW)は30日分(6H/日)、スクールカウンセラー(SC)は11日分(5H/日)の配当があり、SCについては、学校予算で2日分を追加し、13日分とした。生徒や保護者に面談日の案内をし、教員による相談等も含めて有効に活用できている。

1(2)オ：遅刻指導について、10月末現在は99人であり、前年度よりやや増えている。遅刻が少なくなるように工夫したい。

1(3)イ：企業への広報活動について、本校で行う企業向けの見学セミナーは6月に実施し、12月にも予定している。個別の企業見学は10月末現在で27件であり、昨年1年分を上回る件数である。

1(4)ア：1人1台端末の活用について、昨年度の同時期に比べ、多くの授業で活用している。

1(5)ア：大会等への積極的参加について、支援学校対象の各種スポーツに大会に参加している。ダンス部は11月の「共に生きる障がい者展」で優勝した。12月の「高等学校芸術文化際」にも参加予定である。美術部は「子どもたちの讃歌展」に出展した。

1(5)イ：クラブの活性化について、クラブ加入率は10月末現在で65%であり、前年度より低い。

2(1)ウ：高等支援学校のミッションの理解について、オープンスクール、学校見学会、中学校教員対象学校説明会で新転任者が説明しながら来校者を引率している。

2(2)イ：専門性の向上について、支援学校免許の取得状況は現時点では60%であり、前年度より低い。取得した教員の異動が重なることもある。逆にすでに取得している教員が転任してくる場合もある。

2(3)イ：組織的・継続的な人材の育成について、職員会議後の伝達講習は2回実施したが、回数を増やしていきたい。

3(3)イ：避難場所の確認の徹底について、教員配備態勢を見直し、教職員へ再周知した。「教職員防災必携」は今後配付予定である。

4(1)ア：「校務運営の効率化10項目」のほとんどを実践しているが、項目9「保護者への文書配付のデジタル化は」次年度の本格実施に向け、アンケート等から一部試行している。

## (3) 体育祭(10月)アンケートについて

### 【首席A】

今年度はプログラムのパンフレットにアンケート回答用のQRコードを印刷して事前配付したが、回答数は1件であった。デジタル化の推進にはもう一工夫必要だと思われる。

### 【A 委員】

アンケートの提出がないということは、「満足している」「意見はない」とも受け取れる。意見を求め

るのであれば、出口にQRコードの看板を設置して入力を必須とするやり方はどうか。

【首席 A】

PTA・同窓会種目（スプーン競走）では、参加者にペットボトルのお茶を配付した。例年より 30 人がスムーズに集まった印象である。

（4）学校教育自己診断（生徒・保護者・教員）の実施について

【教 頭】

11 月下旬から 12 月にかけて、教員と生徒については Google を活用して実施し、保護者については例年とおりの紙での回答とする予定である。集計結果と分析については第 3 回で報告する予定である。

（5）令和 5 年度 3 年生（9 期生）の進路状況について

【進路指導主事】

30 人中 28 人が就職希望であり、そのうち 15 名は本校として初めての企業に内定する可能性がある。2 名は訓練校の予定である。本校に見学に来る企業が例年以上に増えている。

【A 委員】

地域密着型の進路指導をされている。

【D 委員】

この時期の進路決定の進捗はどのような状況か。

【進路指導主事】

現時点で内定者は 11 名であり、例年並みと言える。

（6）その他、質疑応答

【B 委員】

ランチタイム相談で生徒が相談することで救われているだろう。悩みを打ち明けなくても、来るだけで半分は解決したようなもの。今後も開催を続けてほしい。

【E 委員】

最近では法定雇用率の引き上げに関する相談が多い。これまでは清掃が多かったが、新たに事務補助が増えており、マッチングに努めている。

【A 委員】

いじめ事案は、「手を変え、品を変え」あらゆる形で起こる可能性がある。教職員は毅然とした態度で指導し、「これからどうしたらよいか」を根気強く伝えていく必要がある。

今の教職員の年齢構成をみると、若返った印象である。昔の若手が、経験を積んで今は中堅となり、

学校運営を支えている。初任者等に学校の説明する機会を与えることが、将来に生きてくるだろう。

【校 長】

生徒は社会のルールやマナーなどについて、まだ知らないことが多いため、事故やトラブルは「未然防止」を目標に、生徒に多くのことを伝えていきたい。

次回の会議日程

日時	令和6年3月1日（金） 15:30~17:00
会場	本校図書室